



「さっぽろっ子環境ウイーク」における SDGsアクション

宣言

「給食に関わる取組を通して、食べ物への関心を高め、
食品ロスをへらす」

12 つくる責任
つかう責任



SDGsアクション

「給食川柳で給食の魅力を発信」

3学期に、給食委員会の5・6年生が全校に給食川柳の募集を呼び掛けた。これまで食べた給食について、嬉しかったことやおいしかった思い出を「五・七・五」の川柳にして、回収ボックスに投函してもらった。

健康面についての川柳を書く子もいて、川柳を書く活動を通して、給食のよさや大切さを再確認する機会になった。

投函された川柳はお昼の全校放送にて、給食委員の子たちがラジオ番組のようにして川柳とその感想を交えながら紹介した。



成果

子どもたち全3回の放送を楽しみにしており、紹介された子は自分の好きな給食について書いた川柳が放送に取り上げられたことと委員の子たちが共感してくれたことに嬉しそうな笑顔を見せてた。活動を通じて給食への関心が高まっていた。また、普段はあまり得意ではないメニューがある子たちにとっても川柳を通して良さを聞くことで、魅力に気付くきっかけにもなっていた。

次年度の取組に向けて

給食川柳の取組は昨年度からスタートし、今年で2年目となった。前回の放送を聞いて、「自分も給食の魅力を発信したい。」と考えて委員会に入った子もいる。こうした取組を継続することで、給食への関心を高め、食品ロスを減らしていければと考えている。